

京都きづ川病院で早期胃癌に対して治療をうけた、もしくは経過観察されている患者様・御家族の皆様へ

早期胃癌の予後についての検討へのご協力をお願い

今回、京都きづ川病院消化器内科は、京都府立医科大学関連病院の消化器内科と協力して早期胃癌の予後についての検討を実施いたします。そのため、過去に京都きづ川病院で早期胃癌に対して治療をうけた、もしくは経過観察されている患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えております。

研究の目的

超高齢者の早期胃癌に対しての内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic Submucosal Dissection: ESD)、外科手術の安全性と予後を検討します。また、胃癌が発見された時点の年齢や重篤な併存疾患の存在を理由に無治療経過観察を希望される場合もあります。そこで、無治療群と上記治療群の予後や背景因子を比較することで、超高齢者の治療法選択に際しての有用な指標が存在するのかを検討します。

対象となる患者様について

平成19年1月1日～平成24年12月31日に早期胃癌と診断され、診断時年齢が85歳を超える患者様を対象に、全生存率や疾患特異生存率などを後ろ向きに検討します。

方法について

対象となる患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきます。対象患者様の臨床情報や内視鏡所見、病理学的所見を抽出します。また御存命かどうかを調べます。抽出された情報は個人情報情報を消去し匿名化されます。

資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧は可能です。御希望の方は下記の連絡先まで御連絡ください。

御自分、あるいは御家族の情報を本研究に登録したくない場合や、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。いつでも登録の抹消ができますので下記連絡先まで御連絡ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。なお、申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

なお、本研究結果は、学会での発表や論文として掲載される可能性があります。患者様の

個人情報の漏洩はありません。

本研究は、京都きづ川病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。

この研究計画について御質問がある場合は下記まで御連絡ください。

連絡先：京都きづ川病院消化器内科

医師 堀居 雄介 電話：0774-54-1111(代表)

研究責任者：京都第一赤十字病院 消化器内科

医師 山田 真也 電話：075-561-1121(代表)